

## 春の散歩道

新年度がまだ始まる前の日  
その扉の向こうの見知らぬ場所へ  
言葉にならない不安  
胸のどこかでざわめいている  
冬より明るい光に  
照らされてまぶしい

心の扉 開ける音  
体に響く  
春の散歩道  
ひかりが  
そっと撫でていく

ゆっくり歩いて膨らむ土の匂いに  
どこかしら 懐かしい気配感じる  
名も知らぬ花が足元  
手を振るように小さく揺れる  
風に触れた影だけが  
先に進んでゆく

心の扉 開ける音  
体に響く  
春の散歩道  
ひかりが  
そっと撫でていく

遠い日の思い出  
戻ってくる  
春の散歩道  
記憶が  
そっと目をさます